

熊本県立八代高等学校 2 学年「現代文B」(文理共通) シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 平田オリザ「対話の精神」 (2) 中島敦「山月記」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 語句の意味を正しく理解する。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・ 読解したことを適切に表現する。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・ 計画を立てて学習し, ふり返りをする。	【知識・技能】 ① 語句の意味を正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 ② 読解したことを適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③ 計画を立てて学習し, ふり返りをするすることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	平田オリザ「対話の精神」	1	・ 脚問 1～5 を解く。	Forms による 確認テスト 1 (5/7)	②③
		1	・ 学習のポイント (教科書 17 頁) を解く。	Forms による 確認テスト 2 (5/12)	①② ③
第2回	中島敦「山月記」	1	・ 脚問 1～4 を解く。	Forms による 確認テスト 3 (5/14)	②③
		1	・ 脚問 5～8 を解く。	Forms による 確認テスト 4 (5/19)	②③
		1	・ 脚問 9～13 を解く。	Forms による 確認テスト 5 (5/21)	②③
		1	・ 学習のポイント (教科書 38 頁) を解く。(前半)	Forms による 確認テスト 6 (5/26) (内容の理解 1～3)	①②
		1	・ 学習のポイント (教科書 38 頁) を解く。(後半)	Forms による 確認テスト 7 (5/28) (内容の理解 4以降)	①② ③

熊本県立八代高等学校 2 学年「現代文B」(文系) シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 原研哉「日本のデザイン」 (2) 東直子「流転」
 (3) 川上弘美「光ってみえるもの、あれは」 (4) 中村光夫「私の読書法」

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 語句の読みや意味を正しく理解する。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・ 読解したことを適切に表現する。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・ 計画を立てて学習し、ふり返りをする。	【知識・技能】 ① 語句の読みや意味を正しく理解できる。 【思考・判断・表現】 ② 読解したことを適切に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③ 計画を立てて学習し、ふり返りすることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8	原研哉「日本のデザイン」	1	・問題を解く。 ・解答解説を読み、添削する。	Formsによる 確認テスト1	① ② ③
第2回 5/15	東直子「流転」	1	・問題を解く。 ・解答解説を読み、添削する。	Formsによる 確認テスト2	① ② ③
第3回 5/22	川上弘美「光ってみえるもの、あれは」	1	・問題を解く。 ・解答解説を読み、添削する。	Formsによる 確認テスト3	① ② ③
第4回 5/29	中村光夫「私の読書法」	1	・問題を解く。 ・解答解説を読み、添削する。	Formsによる 確認テスト4	① ② ③

熊本県立八代高等学校 2学年「古典B」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 随筆『方丈記』『ゆく河の流れ』(2) 物語『伊勢物語』『初冠』

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 ・歌物語の特徴を理解する。 <p>【読む能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の無常観や人生観を読み取る。 ・文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。 ・物語の展開を理解し、和歌に込められた登場人物の心情を読み取ろうとする。 	<p>【知識及び理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できる。 ② 歌物語の特徴を理解できる。 <p>【読む能力】</p> <ol style="list-style-type: none"> ③ 筆者の無常観や人生観を読み取っている。 ④ 文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解することができる。 ⑥ 物語の展開を理解し、和歌に込められた登場人物の心情を読み取ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8 (金)	「ゆく河の流れ」	1	① 『方丈記』について学習する。 ・総合国語便覧を活用する。 ② 「ゆく河の流れ」全文を音読する。 ③ 第1段落の口語訳をつくり、問題を解く。	確認テスト	①
第2回 5/11 (月)	「ゆく河の流れ」	1	① 第2段落を音読し、口語訳をつくる。	確認テスト	①⑤
第3回 5/13 (水)	「ゆく河の流れ」	1	① 第2段落を音読し、問題を解く。	確認テスト	⑤
第4回 5/15 (金)	「ゆく河の流れ」	1	① 第3段落を音読し、口語訳をつくる。	確認テスト	①
第5回 5/18 (月)	「ゆく河の流れ」	1	① 第3段落を音読し、問題を解く。	確認テスト	③⑤

第6回 5/20 (水)	「ゆく河の流れ」	1	① NHK 高校講座ライブラーを聴き、まとめの問題を解く。	確認テスト	③⑤
第7回 5/22 (金)	「初冠」	1	① 『伊勢物語』について学習する。 ・総合国語便覧で調べる。 ② 「初冠」全文を音読する。 ③ 教科書 p 40・1～6 行目の口語訳をつくり、問題を解く。	確認テスト	①
第8回 5/25 (月)	「初冠」	1	① 教科書 p 40・7 行目～終わりの口語訳をつくる。	確認テスト	①
第9回 5/27 (水)	「初冠」	1	① 教科書 p 40・7 行目～終わりの問題を解く。	確認テスト	①②
第10回 5/29 (金)	「初冠」	1	① まとめの問題を解く。	確認テスト	④⑥

熊本県立八代高等学校 2学年「世界史A」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 古代オリエント世界

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代オリエント文明とその展開過程について学ぶ。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史事象について考察するとともに、イメージとしてとらえる力をつける。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① オリエントの地勢について理解する。 ② オリエントの風土とメソポタミア文明について理解する。 ③ エジプト文明と地中海東岸について理解する。 ④ 古代オリエント世界の統一について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 歴史事象を考察し、イメージとしてとらえることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥ 計画を立て実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
オリエントの地勢	1	・ 動画視聴（オリエントの地勢）	ワークシート	① ⑤ ⑥
オリエント世界の風土と人々 シュメール人の都市国家 メソポタミアの統一と周辺地域の動向	2	・ 書き込み教科書(P4～6)を読みながらうめる ・ 該当する要点ノート(プリント)と10分間テストをする	要点ノート(P6～8) 10分間テスト(2)	② ⑤ ⑥
エジプトの統一国家 地中海世界の諸民族	1	・ 書き込み教科書(P7～9)を読みながらうめる ・ 該当する要点ノート(プリント)と10分間テストをする	要点ノート(P8～10) 10分間テスト(2)(3)	③ ⑤ ⑥
古代オリエントの統一 パルティアとササン朝の興亡 イラン文明の特徴	2	・ 書き込み教科書(P9～12)を読みながらうめる ・ 該当する要点ノート(プリント)と10分間テストをする	要点ノート(P10～13) 10分間テスト(3)(4)	④ ⑤ ⑥

熊本県立八代高等学校 2 学年「日本史 A」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 江戸幕府の滅亡 (2) 明治維新 (3) 廃藩置県

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府滅亡までの過程を理解する。 明治維新の流れを理解する。 「廃藩置県」を目指した政治改革を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 明治維新にいかに関米列強の動きが影響したかを考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を振り返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 江戸幕府滅亡までの過程を理解できる。 明治維新の流れを理解できる。 「廃藩置県」を目指した政治改革の意味を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 明治維新にいかに関米列強の動きが影響したかを考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回	江戸幕府の滅亡	1	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座（動画視聴）「攘夷から討幕へ」 教科書 P. 25～P. 31 を読む。 	NHK 高校講座の理解度チェックを解く	① ④
		1	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント No. 3 を図説・教科書を見て埋める。 	自己評価(後日解答)	①
		1	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント No. 4 を図説・教科書を見て埋める。 	自己評価(後日解答)	①
		1	<ul style="list-style-type: none"> 新日本史研究ノート P. 86 を解く。 	新日本史研究ノートの提出 (5 / 28)	① ⑤
第 2 回	明治維新	1	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座（動画視聴）「大政奉還から王政復古へ」 教科書 P. 31～P. 34 を読む。 授業プリント No. 5 を埋める。 	NHK 高校講座の理解度チェックを解く 自己評価(後日解答)	② ④
		1	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント No. 6 を図説・教科書を見て埋める。 新日本史研究ノート P. 87 を解く。 	自己評価(後日解答) 新日本史研究ノートの提出 (5 / 28)	②⑤
第 3 回	廃藩置県	1	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座（動画視聴）「廃藩置県」 教科書 P. 35～P. 36 を読む。 授業プリント No. 7 を埋める。(5/7 の登校日に配付) 	NHK 高校講座の理解度チェックを解く 自己評価(後日解答)	③

熊本県立八代高等学校 2 学年「地理 A」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 資源・エネルギー問題 (P150～153) (2) 地球環境問題 (P154～159)
 (3) 地球的課題への取組 (P160～161) (4) 地図 (P162～167) (5) 地図表現 (P168～175)
 (6) 日本の自然 (P176～181) (7) 自然災害 (P182～191) ※P は教科書のページ

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 資源の有限性と偏在性、エネルギーの活用について理解する。 (2) 各種環境問題の特徴と対策について理解する。 (3) 国際社会での役割と国際協力について理解する。 (4) 地図に関する興味関心を高め、地図の特徴について理解する。 (5) 地図表現の可能性、地形図の活用について理解する。 (6) 日本の地形の特徴と変化に富んだ気候について理解する。 (7) 各種自然災害の特徴と対策について理解する。</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <p>地理的思考力を活用しながら、諸資料を適切に読み解く。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <p>学習を通して、地理に関する興味関心を高める。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①各単元の地理的内容を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>②計画を立て、実施し、取組を振り返ることができる。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	資源・エネルギー	1	・教科書を読みながら、太字の部分に線を引き、内容を理解する。 ・よく分からない語句に関しては自分で調べる。 ・ワークについては直接教科書に答えを書き込む。(P166～167、174～175、190～191)	・学校再開後の定期考査や実力考査の範囲として出題。 ・最初の授業で教科書の点検を行う。	①②
第2回	地球環境問題	1			
第3回	地球的課題への取組	1			
第4回	地図	1			
第5回	地図表現	1			
第6回	日本の自然	1			
第7回	自然災害	1			

※1 単元1 コマの学習時間を目安とする。ただし、時間がかかる単元の場合1 単元2 コマ行うなど、各自の学習スピードに合わせて取り組んで良い。適宜復習を行い、知識の定着を図る。

熊本県立八代高等学校 2 学年「政治・経済」シラバス（5 月分）

1. 単元 現代の政治 （1）民主政治の基本原則

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則を理解させる。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の課題を見だし、多面的・多角的に考察し、その結果を表現させる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題プリントの空欄を埋め、記述の課題をさせることで理解を深めさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①民主政治の基本原則を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>②民主政治の課題を見だし、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③丁寧にかつ空欄がなく課題プリントを記述している。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	政治と法	1	・国家の三要素や法について理解を深める。	政治の役割と法の意義を説明できる。	① ② ③
第2回	社会契約説と権力分立	1	・社会契約説について理解を深める。	社会契約説を唱えた人物たちの違いを説明できる。	① ② ③
第3回	法の支配の原則、基本的人権の確立	1	・自由権、社会権などの基本的人権の確立について理解を深める。	基本的人権が確立されていく過程を説明できる。	① ② ③
第4回	人権の国際化	1	・社会権や人権の国際化について理解を深める。	基本的人権がどのように広がっていったのか説明できる。	① ② ③
第5回	議院内閣制と大統領制	1	・イギリスの議院内閣制、アメリカの大統領制について理解を深める。	イギリスとアメリカの政治体制を説明できる。	① ② ③
第6回	社会主義国の政治体制	1	・ロシア、中国の政治体制について理解を深める。	ロシア、中国の政治体制を説明できる。	① ② ③

☆勉強方法

- 1 当日勉強する単元の教科書の範囲をしっかりと読む。
- 2 各単元のプリントを教科書を見ながら解く。
- 3 解答を見ながら答え合わせ、やり直しをする。

☆課題提出

課題プリントは、学校が再開した最初の授業の時に提出。

※課題プリントは、名前を書き、バラバラにならないように順番にまとめておいてください（ファイルにまとめて入れる、ホッチキスでとめる、ノートに貼るなど形式はお任せします。）

熊本県立八代高等学校 2 学年

「文系(6組中進以外)・理系高進生数学Ⅱ」シラバス (5月分)

1. 単元 (1) 点と直線 (2) 円 (3) 軌跡と領域

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・座標を用いて計算できる。 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・座標、グラフ、図形の方程式を用いて距離や傾き、角度について考えることができる。 【学びに向かう力, 人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。	【知識・技能】 ①公式を用いて、座標同士の関係の計算ができる。 ②式変形ができる。 ③文字を設定して式を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 ④数直線やグラフを図示することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤別解や計算の工夫ができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	第1節 点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式	1	直線上の点(復習) p62~p64 平面上の点(復習) p65~p69	各週毎に練習問題記入プリントを配付するので、解いて、答え合わせして毎週提出すること。評価対象になるので、必ず仕上げること。解説は、時間割終了後にクラスシーに上げていくので参考にすること。	①
		1	直線の方程式 p70~p74		②③
第2回	4 2直線の関係	1	直線の方程式 p75		②④
		1	直線の方程式 p76~p77		②④
第3回	第2節 円 5 円の方程式 6 円と直線	1	円の方程式 p80~p82 3点を通る円の方程式		②③④⑤
		1	円と直線の位置関係 p83~p85 判別式から、点と直線の距離から		②③
第4回	円の接線の方程式 2つの円	1	円の接線の方程式 p86~p87		①④
		1	2つの円の位置関係 p88~p89		③④
第5回	2つの円の交点を通る図形 軌跡と方程式	1	2つの円の共有点の座標 p90~p91		②③④⑤
		1	座標平面上の軌跡 p93~p95		②③
第6回	領域	1	不等式の表す領域 p96~p98	②③④⑤	
		1	連立不等式の表す領域 p99~p100	②③	
第7回	領域	1	領域と最大・最小 p101~p102	②③④⑤	

熊本県立八代高等学校 2 学年「6 組中進生文系・数学Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) リンク問題集数Ⅱbasic (2) リンク問題集数Ⅱchallenge

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準的な問題に触れる。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字や式の設定、式変形、図示したり、求めたりする。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教科書例題の解法をマスターする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②文字や式の設定、変形、図示したり、求めたりする。 ③図示できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④別解や計算の工夫ができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	曲線と x 軸の間の面積	1	曲線と x 軸の間の面積 p213 2つの曲線の間の面積～p216	練習問題記入プリントを配付するので、解いて、答え合わせして毎週提出すること。評価対象になるので、必ず仕上げること。 リンク冊子を解いて、答え合わせして毎週提出すること。評価対象になるので、必ず仕上げること。ノートを別に作ってもよい。	①
		1	2つの曲線の間の面積(続き) p217～p219		①
第2回	リンク問題集 Basic 式と証明 複素数と方程式	1	式と証明 p88～p89		①
		1	複素数と方程式 p90～p91		①
第3回	図形と方程式 三角関数	1	図形と方程式 p92～p93		①
		1	図形と方程式 p94～p95		①
第4回	指数関数と対数関数 微分法	1	三角関数 p96～p97		①
		1	指数関数と対数関数 p98～p99		①
第5回	積分法 Challenge へ 式と証明	1	微分法 p100～p102		①
		1	積分法 p103～p105		②③④
第6回	複素数と方程式 図形と方程式	1	式と証明 p144		②③ ④
		1	式と証明 p145		②③④
第7回	図形と方程式	1	複素数と方程式 p146		②③④

熊本県立八代高等学校 2 学年「中進生理系・数学Ⅱ（Ⅲ）」シラバス（5 月分）

1. 単元 (0) 数Ⅱの教科書の最後 (1) 2次曲線 (2) 媒介変数表示と極座標 (3) 関数

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図形に対応する式の形を覚える。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 式の設定、式変形、直線との関係を図示したり、求めたりする。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 図形に対応する方程式を作る。 ② 図形に対応する方程式を覚える。 ③ 文字を設定して式を組み立てることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 数直線やグラフを図示することができる。 ⑤ 図形を方程式で現せる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 別解や計算の工夫ができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	曲線と x 軸の間の面積	1	曲線と x 軸の間の面積 2つの曲線の間面積 p213～p216	各週毎に練習問題記入プリントを配付するので、解いて、答え合わせして毎週提出すること。評価対象になるので、必ず仕上げること。解説は、時間終了毎にクラスシーに掲載するので参考にする	①⑥
		1	2つの曲線の間面積(続き) p217～p219		②③⑥
第2回	第1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円	1	放物線 p34～p35		②④
		1	楕円 p36～p38		②④
第3回	2 楕円 3 双曲線	1	楕円(続き)p38～p40		②③④⑤
		1	双曲線 p41～p45		②③
第4回	4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線	1	2次曲線の平行移動 p47～p49		①④
		1	2次曲線と直線 p50～p53		③④
第5回	6 2次曲線の性質 7 媒介変数表示	1	2次曲線の性質 p54～p55	②③④⑤	
		1	媒介変数表示 p57～p60	②③	
第6回	8 極座標と極方程式	1	サイクロイド p61～p63	②③④⑤	
		1	極座標と極方程式 p64～p67	②③	
第7回	8 極座標と極方程式	1	極方程式(続き)p68～p71	②③④⑤	

熊本県立八代高等学校 2学年「数学B」シラバス (5月分)

1. 単元 (1) 等差数列と等比数列 (2) いろいろな数列 (3) 漸化式と数学的帰納法

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列公式を用いて計算する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字の並びからどの数列かを判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し、取組をふり返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①数列公式を用いて計算できる。 ②式変形ができる。 ③文字を設定して式を組み立てることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④数字の並びからどの数列かを判断する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤計算の工夫ができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	等差数列の復習	1	等差数列の一般項と和の公式 (復習) p72~p79	各週毎に練習問題記入プリントを配付するので、解いて、答え合わせして毎週提出すること。評価対象になるので、必ず仕上げること。 解説は、時間割終了後クラッシーに掲載する。	①
		1	等比数列の一般項 p80~p81		②③
第2回	等比数列	1	等比数列の和の公式 p82~p84		② ④
	自然数の累乗の和	1	自然数の累乗の和 p87~p88		② ④
第3回	和の記号 Σ	1	和の記号 Σ p88~p89		②③ ④⑤
		1	和の記号 Σ の性質 p89~p90		②③
第4回	階差数列	1	階差数列 p91~p92		②③ ④⑤

熊本県立八代高等学校 2 学年「物理」シラバス (5 月分)

1. 単元 第1章 波の性質

2. 単元目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の基本的な要素（波長λ、振動数f、波の伝わる速さv、周期T、振幅A）について理解し、波の基本式を活用する。 縦波と横波の違いを理解する。 波の重ね合わせや独立性、定常波について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の伝わる様子を$y-x$グラフ及び$y-t$グラフ等で表現し、振動状態を分析する。 波の重ね合わせや独立性、定常波の様子を作図で表現し、振動状態を分析する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波に関心を持ち、計画的に取り組む。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 波の基本的な要素を理解し、式を活用できる。 縦波と横波の違いを理解し、表示を相互に変換することで振動状態を把握できる。 波の重ね合わせや独立性、定常波の特徴について理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 波の伝わる様子を$y-x$グラフ及び$y-t$グラフ等で表現し、振動状態を分析できる。 波の重ね合わせや独立性、定常波の様子を作図で表現し、振動状態を分析できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 波に関心を持ち、計画的に取り組むことで単元の目標を達成することができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	波の伝わり方 1…5/8(金) 2…5/11(月)	1	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座の動画視聴「第24回 ～波の伝わり方～」 教科書P102～105を読む 問1を授業ノートに解く 	問いの解答状況の確認 ※ノートの該当箇所を撮影し、画像を Classi で提出	①
第2回		1	<ul style="list-style-type: none"> 提出用のプリントに用語、内容のまとめを整理し、課題に取り組む 	<u>プリントの内容整理及び</u> <u>課題の考察【レポート1】</u>	① ⑥
第3回	波の表し方 3…5/13(水) 4…5/15(金)	1	<ul style="list-style-type: none"> NHK 高校講座の動画視聴「第25回 ～波長と速さと振動数～」 教科書P106～108を読む 問2、例題1を授業ノートに解く 	問い及び例題の解答状況の確認 ※ノートの該当箇所を撮影し、画像を Classi で提出	① ④
第4回		1	<ul style="list-style-type: none"> 提出用のプリントに用語、内容のまとめを整理し、課題に取り組む 	<u>プリントの内容整理及び</u> <u>課題の考察【レポート2】</u>	④ ⑥

第5回	縦波と横波 5…5/18(月)	1	・教科書P109～111を読む ・問4・問5を授業ノートに解く	問いの解答状況の確認 ※ノートの該当箇所を撮影し、画像をClassiで提出	②
第6回	波の重ね合わせ 定常波 6…5/20(水)	1	・NHK高校講座の動画視聴 「第26回～定常波～」 ・教科書P112～114を読む ・問6を授業ノートに解く	問いの解答状況の確認 ※ノートの該当箇所を撮影し、画像をClassiで提出	① ③
第7回	7…5/22(金)	1	・提出用のプリントに用語、内容の まとめを整理し、課題に取り組む	<u>プリントの内容整理及び</u> <u>課題の考察【レポート3】</u>	③ ⑤ ⑥
第8回	8…5/25(月)				
第9回	波の反射 9…5/27(水) 10…5/29(金)	1	・NHK高校講座の動画視聴 「第26回～定常波～」 ※第6回で視聴済のため、省略可能 ・教科書P115～117を読む ・問8を授業ノートに解く	問いの解答状況の確認 ※ノートの該当箇所を撮影し、画像をClassiで提出	① ③
第10回		1	・提出用のプリントに用語、内容の まとめを整理し、課題に取り組む	<u>プリントの内容整理及び</u> <u>課題の考察【レポート4】</u>	⑤ ⑥

5. 提出物について

- ・問いの解答状況 → 撮影画像をClassiで提出
- ・【レポート1】～【レポート4】 → 登校日にその都度提出
レポート1 … 5/14(木) レポート2 … 5/21(木) レポート3 … 5/28(木)
レポート4 … 後日指示
- ※ これらの提出物は評価の対象とする

6. その他

- ・NHK高校講座の動画視聴について
休校期間中に該当部分の放送はないので、HPの[物理基礎] → [2学期] → [第24～26回]
で視聴をしてください。
<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/butsurikiso/>
- ・教科書は物理基礎を使用してください。
- ・Classiで別途指示することがあるかもしれないので、こまめにチェックをすること
- ・授業計画すべてが終了した後、内容理解のために確認テストを行う予定
- ・余裕がある人は物理基礎研究ノートの問題でさらに理解を深めておく

熊本県立八代高等学校 2学年「化学基礎」シラバス（5月分）

1. 単元 第3章 粒子の結合

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 粒子の結合の仕方を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結合によって物理的性質が異なることを判断する。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> あたえられた課題に真摯に取り組み、達成する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①金属元素、非金属元素を理解できる。 ②元素により結合が異なることを理解できる。 ③結合によって結合力が異なることを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④元素による結合の違いによって、物理的性質が異なることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤あたえられた課題に真摯に取り組み、課題を達成しようと努力できる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	3-1 イオン結晶	1	教科書 P56～P57 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	①②
第2回	3-1 組成式	1	教科書 P58～P59 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	③
第3回	3-1 組成式確認テスト	1	確認テストの問題を解く	Forms による確認テスト	①② ⑤
第4回	3-2 電子式	1	教科書 P62 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	①②
第5回	3-2 共有結合	1	教科書 P61～P65 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	①②
第6回	3-2 確認テスト	1	確認テストの問題を解く	Forms による確認テスト	①② ③⑤
第7回	3-2 配位結合	1	教科書 P68 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	④
第8回	3-2 錯イオン	1	教科書 P69 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	④
第9回	3-2 錯体確認テスト	1	確認テストの問題を解く	Forms による確認テスト	④⑤
第10回	3-3 分子からなる物質	1	教科書 P70～P72 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリントの提出	①②

第 11 回	3-3 分子間に働く力	1	教科書 P73～P74 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリント の提出	③
第 12 回	3-3 分子間に働く力と沸点	1	教科書 P75～P77 を読む。 プリントの穴埋め問題を解く。	登校日に学習プリント の提出	①② ③
第 13 回	3-3 確認テスト	1	確認テストの問題を解く	Forms による確認テスト	④⑤

熊本県立八代高等学校 2学年「生物（文系）」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 生物の多様性と生態系 (2) 生態と環境

<p>2. 単元の目標</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系での生物の変化を理解する。 生態系での生物間の関係を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系での生物・ヒトの関係性を述べる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を振り返る。 	<p>3. 評価規準</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生態系での生物の変化を理解できる。 ②生態系での生物間の関係を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③生態系での生物・ヒトの関係性を述べるができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④計画を立て実施し、取組をふりかえることができる。
---	---

4. 授業計画（k：生物基礎の教科書、s：生物の教科書、p1：一問一答、p問：問題）

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	<ul style="list-style-type: none"> 植生とその成り立ち 植物の遷移 	1	<ul style="list-style-type: none"> k 172,173,179 k 176～183を読む p1：281～304を解く p問：[61]～[65]を解く 質問、感想を連絡する。 	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	① ④
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 気候とバイオーム 	1	<ul style="list-style-type: none"> k184～197を読む p1：305～332を解く p問：[66]～[71]を解く 	課題プリントの提出・取り組み状況	①
第3回	<ul style="list-style-type: none"> 生態系とその成り立ち 物質の循環とエネルギーの流れ 	1	<ul style="list-style-type: none"> k198～209を読む p1：333～364を解く p問：[72]～[78]を解く 質問、感想を連絡する。 	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	① ② ④
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 生態系のバランスと保全 	1	<ul style="list-style-type: none"> k210～225を読む p1：365～381を解く p問：[79]、[80]を解く 	課題プリントの提出・取り組み状況	③
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 個体群 	1	<ul style="list-style-type: none"> s304～317を読む p1：1～27を解く p問：[1]～[7]を解く。 質問、感想を連絡する。 	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	② ④
第6回	<ul style="list-style-type: none"> 個体群内の個体間の関係 異種個体群間の関係 	1	<ul style="list-style-type: none"> s318～327を読む p1：28～44を解く p問：[8]～[11]を解く 	課題プリントの提出・取り組み状況	②

熊本県立八代高等学校 2学年「生物（理系）」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 生物の多様性と生態系 (2) 生態と環境

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系での生物の変化を理解する。 生態系での生物間の関係を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生態系での生物・ヒトの関係性を述べる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立て、実施し、取組を振り返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生態系での生物の変化を理解できる。 生態系での生物間の関係を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生態系での生物・ヒトの関係性を述べるができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 計画を立て実施し、取組をふりかえることができる。

4. 授業計画 (k: 生物基礎の教科書, s: 生物の教科書, p1: 一問一答, p問: 問題)

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	・植生とその成り立ち ・植物の遷移	1	・k 172,173,179 k 176~183を読む ・p1: 281~304を解く ・p問: 61~65を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	①
第2回	・気候とバイオーム	1	・k184~197を読む ・p1: 305~332を解く ・p問: 66~71を解く ・質問、感想を連絡する。	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	① ④
第3回	・生態系とその成り立ち ・物質の循環とエネルギーの流れ	1	・k198~209を読む ・p1: 333~364を解く ・p問: 72~78を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	① ②
第4回	・生態系のバランスと保全	1	・k210~225を読む ・p1: 365~381を解く ・p問: 79, 80を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	③
第5回	・個体群	1	・s304~317を読む ・p1: 1~27を解く ・p問: 1~7を解く。 ・質問、感想を連絡する。	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	② ④
第6回	・個体群内の個体間の関係 ・異種個体群間の関係	1	・s318~327を読む ・p1: 28~44を解く ・p問: 8~11を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	②
第7回	・生物群集	1	・s309,328~333を読む ・p1: 45~51を解く ・p問: 12, 13を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	②
第8回	・生態系における物質生産	1	・s334~343を読む ・p1: 52~69を解く ・p問: 14~19を解く ・質問、感想を連絡する。	課題プリントの提出・取り組み状況 質問、感想の連絡の有無	① ④
第9回	・生態系と生物多様性	1	・s344~369を読む ・p1: 70~75を解く ・p問: 20~23を解く	課題プリントの提出・取り組み状況	① ②
第10回	・まとめの問題	1	・問題プリントを解く	プリントの提出・取り組み状況	④

熊本県立八代高等学校 2学年「地学基礎」シラバス（5月分）

1. 単元 (1) 地球の概観

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球の概観について、地球の表面について理解する。 地球の内部構造を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球の大きさ、形を求める方法を考え、表現する。 地球の内部構造について図で表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を見ながら実施し、取り組みを振り返る。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①固体地球の表面について理解できる。 ②地球の大きさ・形の求め方を理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③地球の形や大きさの求め方について図を書き、考え方を説明できる。 ④地殻とマンツルの図を表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤計画通りに単元の目標を達成し、取り組みについて振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	固体地球の表面	1	・教科書P4～P5の表及び文中の内容を理解し、覚える	研究ノートP9を解く	①
第2回	地球の形	1	・NHK高校講座「第18回～地球の形と大きさ」の動画視聴。 ・教科書P6の地球の形の証拠を覚える。	ルーズリーフに地球が丸い証拠をまとめる。	②
第3回		1	これまでの内容を確認する。 研究ノートや地球の形が丸い証拠の覚え直し。	第1回、第2回でできなかったことを行い、理解できなかったことを質問としてまとめる。	⑤
第4回		1	・教科書P6の地球の大きさの求め方を理解する。	研究ノートP10を解く	③
第5回		1	・教科書P7の完全な球形ではない地球の考え方を理解する。	研究ノートP11を解く	③
第6回		1	これまでの内容を確認する。 研究ノートや地球の形が丸い証拠の覚え直し。	第4回、第5回でできなかったことを行い、理解できなかったことを質問としてまとめる。	⑤

第7回	地殻とマントル	1	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK高校講座「第19回～地球の形と大きさ」の動画視聴。 ・教科書P9～10の地殻・マントルについて理解する。 	研究ノートP14を解く	④
-----	---------	---	---	-------------	---

5 提出方法

①研究ノートはルーズリーフに解いて毎週木曜日の登校日に提出。(年組番号氏名を忘れないこと)

②質問内容、まとめた内容もルーズリーフにかいて木曜日に提出。次週返却された際に授業用ノートに貼る。

これらの提出物が評価の対象となる。年組番号氏名が抜けていた場合、評価できない可能性あり。

6 返却物について

基本次週に返却するものとする。

①については返却された際に提出ノートに張り付けること

②については返却された際に授業用ノートに張り付けること

熊本県立八代高等学校 2学年「保健」シラバス（5月分）

1. 単元

- (1) 思春期と健康（P 6 4～6 5） (2) 性への関心・欲求と性行動（P 6 6～6 7）
 (3) 妊娠・出産と健康（P 6 8～6 9）

※Pは教科書のページ

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 思春期における体の変化について説明する。 思春期の心の発達にかかわる健康問題を説明する。</p> <p>(2) 性意識の男女差を説明する。 性情報が性行動の選択に影響することを理解する。</p> <p>(3) 妊娠出産の健康問題を説明する。</p> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <p>(1) 自分の行動への責任感や異性を尊重する態度を身につける。</p> <p>(2) 性に関する情報等への適切な対処がする。</p> <p>(3) 諸資料を適切に読み解く。</p> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <p>(1) 学習を通して、保健に関する興味関心を高める。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>(1) (2) (3)</p> <p>①各単元の内容を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(1) (2) (3)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(1) ②日常から保健分野の内容について興味関心を高めている</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	思春期と健康	1	・教科書を読みながら、重要な用語に線を引く。 ・太字の語句（キーワード）については用語解説（P 1 0 6～）などを参考に自分で調べる。	・学校再開後の考査範囲として出題。	①
第2回	性への関心・欲求と性行動	1	・保健体育ノート記入する。 （P 6 2、P 6 4、P 6 6）	・学校再開後に保健体育ノートを提出	②
第3回	妊娠・出産と健康	1			

熊本県立八代高等学校 2 学年「コミュニケーション英語Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) L1 Beyond Words (2) L2 Stay Hungry, Stay Foolish
副教材：UNITE 英語総合問題集 STAGE 2.5 (数研出版)

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レッスン中の語彙・表現を理解する。 ・重要構文を含む文を理解する。 ・本文のアウトラインを理解する。 ・段落やパートごとの要点を理解する。 <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまった英文の内容理解・構文理解を深め、自己表現活動につなげる。 <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の背景にある文化を理解する。 ・題材を通して自分の将来の夢や成し遂げたい目標について考え、どう生きるべきか考える。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①レッスン中の語彙・表現を理解することができる。 ②重要構文を含む文を理解することができる。 ③本文のアウトラインを理解することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④情報や考えなどについて意見を述べたり、英語で簡潔に書くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑤「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組もうとしている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 ～ 第4回	Lesson 1 Part1～Part4 * 1パート1時間 (50分)で進める	4	①DataBaseを読む ②本文を聞く(読む) ③ワークシートに解答 ④丸付け訂正復習 ⑤本文音読(音読シート活用)	5/15と5/18実施の確認テスト(DataBaseと本文の2種類)を提出。	①② ③
第5回 と 第6回	確認テスト (1)5/15(金) (2)5/18(月)	2	①DataBase 確認テストと本文に関する確認テストに取り組む。 ②丸付け訂正復習	書き込み、訂正をした用紙を5/21(木)に提出	①② ③④ ⑤
第7回 と 第8回	UNITE Lesson7 5/19(火)④長文 5/20(水)③文法 *長文と文法で各1時間実施	2	【長文】 ①本文を聞く(読む) ②問題を解く③丸付け訂正④summaryとDictationで復習 【文法】 ①問題を解く ②丸付け訂正復習	提出用ノートを5/21(木)に提出 *Your ideaも必ず解答すること。	①② ③④ ⑤
第9回 ～ 第12回	Lesson 2 Part1～Part4 * 1パート1時間 (50分)で進める	4	①DataBaseを読む ②本文を聞く(読む) ③ワークシートに解答 ④丸付け訂正復習 ⑤本文音読(音読シート活用)	5/29実施の確認テスト(DataBaseと本文の2種類)を提出する。	①② ③
第13回	確認テスト(3) 5/29(金)	1	①DataBase 確認テストと本文に関する確認テストに取り組む。 ②丸付け訂正復習	書き込み、訂正をした用紙を次回登校日に提出	①② ③④ ⑤

熊本県立八代高等学校 2 学年「英語表現Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 Vision Quest English ExpressionⅡ Lesson 1～Lesson 5

2. 単元の見どころ	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】 以下の文法・表現の理解。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主語の決定／見えない主語の発見／主語の it 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語 自動詞と他動詞／群動詞 SVO/SVOO/SVC/SVOC <p>【思考力，判断力，表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学んだ文法・表現を使って、文を書く。 自分や与えられた課題について文章を書く。 <p>【学びに向かう力，人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれのページで学んだ文法・表現を理解し，知識として定着させようとする。 論理の展開や表現の方法を工夫しながら自分の意見を伝え，説得力ある発言ができる力を身に付ける。 	<p>【知識・技能】</p> <p>①学んだ文法・表現を使って，文を書くことができる。</p> <p>②自分や与えられた課題について，文章を書くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③学んだ文法・表現を使って，文を書くことができる。</p> <p>④自分や与えられた課題について文章を書くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑤間違いを恐れず，積極的に表現しようとしている。</p>

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7 (木)④	Lesson 1 教科書 p. 8～9	1	①左ページの例文を読んで確認 ②ワークシートの解法のヒントを見て解する③解答・解説をよく読み、丸付け訂正書き込み	確認テスト (5/14 実施)	①② ③④
第2回 5/12 (火)③	Lesson 2 教科書 p. 10～11	1	①左ページの例文を読んで確認 ②ワークシートの解法のヒントを見て解する③解答・解説をよく読み、丸付け訂正書き込み	確認テスト (5/14 で実施)	①② ③④
第3回 5/14 (木)④	・Lesson1 と 2 の 確認テスト ・英作文 (Goal)	1	①確認テスト第1回 (Lesson1 と Lesson2) に解答し、採点と訂正を行う。②Goal 英作文を1つ仕上げる。	確認テスト用紙と英作文用紙を5/21 (木)に提出する。	①② ③④ ⑤
第4回 5/19 (火)③	Lesson 3 教科書 p. 16～17	1	①左ページの例文を読んで確認 ②ワークシートの解法のヒントを見て解する③解答・解説をよく読み、丸付け訂正書き込み	確認テスト (5/26 で実施)	①② ③④
第5回 5/21 (木)④	Lesson 4 教科書 p. 18～19	1	①左ページの例文を読んで確認 ②ワークシートの解法のヒントを見て解する③解答・解説をよく読み、丸付け訂正書き込み	確認テスト (5/26 で実施)	①② ③④
第6回 5/26 (火)③	・Lesson3 と 4 の 確認テスト ・英作文 (Goal)	1	①確認テスト第2回 (Lesson3 と Lesson4) に解答し、採点と訂正を行う。②Goal 英作文を1つ仕上げる。	確認テスト用紙と英作文用紙を5/28 (木)に提出する。	①② ③④ ⑤
第7回 5/28 (木)④	Lesson 5 教科書 p. 20～21	1	①左ページの例文を読んで確認 ②ワークシートの解法のヒントを見て解する③解答・解説をよく読み、丸付け訂正書き込み	休校明けに確認テスト	①② ③④

熊本県立八代高等学校 2学年「探究」シラバス（5月分）

1. 単元 （1）SDGsを学ぶ「新しいものさしで考える」

2. 単元の目標	3. 評価規準
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの17の目標を理解する。 SDGsと社会問題との関連を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点で社会問題を捉え、課題意識を持つ。考えたことを表現する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会問題に対して当事者意識を持つ。 	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> SDGsの17の目標について説明できる。 SDGsと社会問題との関連を説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> SDGsの視点で捉えた社会問題と、それについて考えたことを自らの言葉で表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1つ1つの学習に丁寧に取り組み、学習の過程や振り返りの中で考えたことを自らの言葉で表現することができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8 (金)6	SDGsを学ぶ① 17の目標を知り、問題意識を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 資料「私たちがつくる持続可能な世界」をしっかりと読む。大切なところや気になるところに印をつける。 資料の「STAGE1」「STAGE3」「STAGE4」に取り組む。 	提出課題で確認 提出日 5/14(木) 登校日	① ④
第2回 5/15 (金)6	SDGsを学ぶ② 身近な社会問題とSDGsの関連を知る。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの視点から新聞記事2つを読む。 設問を読み、気づいたことや考えたことを書く。 	提出課題で確認 提出日 休校明けの6月 登校日	① ② ③ ④
第3回 5/22 (金)6	SDGsを学ぶ③ 身近な社会問題とSDGsの関連を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 例を参考にしてワークシート「新聞でSDGs(その1)」に取り組む。 気づいたことや考えたことを書く。 	提出課題で確認 提出日 休校明けの6月 登校日	① ② ④
第4回 5/29 (金)6	SDGsを学ぶ④ SDGsの視点で社会問題を捉え、課題意識を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 新聞1日分を全ページ読み、SDGsの達成に向けて重要だと考える記事を切り取る。 記事をワークシート「新聞でSDGs(その2)」の中央に貼る。 第2回と同様にワークシートに取り組む。 	提出課題で確認 提出日 休校明けの6月 登校日	③ ④